

山行報告書

山行管理部

例会山行 大岩岳 8月23日 L入山 参加44名(うち一般1名)

JR大阪(8:29) → JR道場～体操(9:17～10:10) → 千刈ダム →
大岩岳(12:10～12:40) →丸山湿原 → JR道場 16:00 解散

当日は天候に恵まれ、千刈ダムの放水(夏にはお薦めです)を見ながら順調な歩き出しでしたが、午後からアクシデントにより負傷者が出てしまいました。けれども、諸先輩方のご協力のお陰で全員が下山することが出来ました。有難うございました。サブリーダーとして初めての山行でしたが、役割を果たせず申し訳ありませんでした。

(近澤 記)

有志山行 唐松岳・五竜岳・鹿島槍ヶ岳 8月26～30日 L宮田 参加7名

8月26日(水)阪急梅田バスターミナル 21:50 発 ～(高速バス)～ 車中(泊)

27日(木) ～長野駅着6:42 長野駅東口発8:05 ～(バス)～白馬八方着9:15 …

ゴンドラリフト10:00 → 第一ケルン10:40 … 八方池11:45 …

… 唐松岳頂上山荘着14:35 … 唐松岳登頂 … 唐松岳頂上山荘(泊)

28日(金)唐松岳頂上山荘発5:00 … 大黒岳6:20 … 五竜山荘8:30 …

五竜岳10:15 … ロノ沢のコル14:00 … キレット小屋15:40(泊)

29日(土)キレット小屋発5:30 … 鹿島槍ヶ岳北峰7:25 …

鹿島槍ヶ岳南峰8:10 … 布引山9:15 … 冷池山荘10:40 …

赤岩尾根分岐11:37… 爺ヶ岳南峰13:35… 種池山荘14:35(泊)

30日(日)種池山荘発5:35 … 柏原新道登山口8:30 … 扇沢発8:55 ～(バス)

～9:10 大町温泉郷着(入浴) 大町温泉郷発～(タクシー)～ 信濃大町

(昼食)JR信濃大町駅12:37～JR松本駅13:37 阪急松本バスターミナル

発15:00 ～(阪急高速バス)～ 阪急梅田バスターミナル 着20:42

山行中、全般にガスがかかり曇りがち、時折、日が差したり霧雨が降ったりする天気だった。天候に大きな崩れもなく、計画どおりの山行を行うことができて非常に助かった。唐松岳、五竜岳から鹿島槍ヶ岳までのコース前半はアップダウンが大きく、キレット、岩場、鎖場など厳しい箇所が連続するコースだった。鹿島槍ヶ岳から種池山荘までのコース後半は、岩場、鎖場など無く緩やかなコースだった。キレット、岩場、鎖場ではメンバー全員が、足を踏み外さぬよう、落石を起さぬよう、お互い声を掛け合い、注意し合い、事故を起さぬように心をひとつにして行動し良い経験になった。特に、岩場、鎖場で崩れやすい岩もあったので気を抜いてはならぬと実感した。

(入山 記)

教育部山行 第2回 白滝谷沢登り 8月29日 L高桑 参加4名

7:30 JR 茨木駅西口前集合 (名神 IC に近い) 9:00 坊村 →

10:15 白滝谷入溪 14:30 夫婦滝 → 17:00 坊村 → 19:30 茨木

今夏は2度目の白滝谷です。盛夏の時と違って入溪者は少なく穏やかな沢でした。全く初めてのKさんも軽やかにこなし、想像以上の楽しさを堪能したようで沢用具の購入費も納得されたようでした。来夏をすでに楽しみにしているようです。来夏はより多くの参加者が来られるように早く日程を決めるようにします。

(高桑 記)

有志山行 聖岳～光岳 8月29～9月2日 L乾 参加7名

8/29(土) 森の宮 9:00 ⇒ 高原ロッジ下栗(飯田市上村) 14:30 (泊)

8/30(日) 高原ロッジ下栗 5:30 ⇒ 易老渡登山口 6:50…便ヶ島広場 7:30…

西沢渡 8:25…薊畑 13:10…聖平小屋 13:35 (泊)

8/31(月) 聖平小屋 5:10…薊畑 5:35…前聖岳 7:35…薊畑 9:10…9:30 聖平小屋

10:30 頃…南岳 12:10…上河内岳の肩 13:05…茶臼小屋 14:45 (泊)

9/1(火) 茶臼小屋 5:35…茶臼岳 6:15…易老岳 8:30…光小屋 11:20…光岳 11:40

…光岳小屋 12:20 (泊)

9/2(水) 光岳小屋 4:30…易老岳 7:25…面平 9:10…易老渡登山口 10:25 着

天候が思わしくないことは、事前に分かってはいたが「一日位晴れる日もあるだろう」との淡い期待もむなしく、殆ど毎日雨が続いた。

一日目、易老渡から西沢渡までは沢沿いの緩やかな登り道を歩く。この後稜線からは途中の苔平を挟み、延々と急登が続く。標高 2,400m の薊畑(聖岳への分岐)は思いのほか風が強かったが、山影の聖平小屋への下りは、夏の終わりを告げるようにお花畑が広がっていた。また小屋に着き靴を脱ぐ時になって始めて、このコース序盤にはヒルが生息することを、身をもって知ることとなる。

二日目の聖岳へは若手M^ハ-4名(男性2名・女性2名)で登ることとなった(これは残った3名[S.K.Y氏]が、前日の急登で身も心も疲れ果て歩くのが嫌になり、小屋番の人達と山談義をしたり、雨で濡れた靴や衣類を干すなど、ゆったりとした一時を過ごしたいという「さぼり心」の結果、によるものでは決してない!)。山頂直下からの長い急登は、自分にとって今回の山行中最も苦しい道のりだったが、何とか頂上を踏むことができた。聖平小屋へ戻り少し早目の昼食の後、全員で茶臼小屋を目指す。南岳前後のガレ場では風も強く慎重に歩き、15:00 近く鞍部から左手に 20 分程下った所にある小屋へ到着する。

三日目、小屋を出て 40 分程で茶臼岳へ到着、その後数羽の雷鳥に出会う。易老岳ま

では尾根歩きもあり「晴れていれば」それなりの景観が望めたことだろう。易老岳から光岳小屋までは何度か大きく下り、沢を登り返して静高平へ着く。ここから小屋までわずかに歩き、荷物を小屋に預けて光岳・光石への道を往復する。光岳山頂は木々に囲まれており、晴れていても眺望はさほど期待できないと思われる。

四日目、易老岳までは来た道に戻り、ここから左に折れ、車が止めてある易老渡を目指しひたすら下る。最後に遠山川にかかる小さな鉄橋を渡り今回の山行も無事に終わる・・・はずだったが、長雨により沢を転がってきた大量の岩石により、車での帰り道となる林道が完全に塞がれていた。ここからは説明をすれば長くなるので省略。とにかく何とか無事に大阪へ帰ることができた。

ただ参考として南アルプスへ車で行く時には、林道で崖崩れ等があった場合に備え、道路を管轄する自治体への連絡先や最寄のタクシー会社の電話番号、また携帯の電波状況(どこから通話可能なのか[今回 CL は把握済。])等は事前に調べておい方が良いと思う。また、ザックカバーもザック購入時に付いているものは、長時間の雨に対しては殆ど役に立たない。今後は別売りの「防水性の確かな」カバーを用意すべきだと感じた。今回の山行は、生憎の長雨で毎日ずぶ濡れとなり、山頂や稜線からの景色も殆ど望めなかったが、GさんやIさんの思いと同様に何故か「残念だった」との思いがあまりしない。むしろ「山を歩き通せた。」という満足感・充実感の方が、強く残る山行であった。

(三嶋 記)

有志山行 岩手山 9月3日 L井 参加 1名

馬返し駐車場登山口・曇り(6:20)→新道四合目(8:10)→八合目避難小屋(10:10)→

(11:10) 岩手山(11:25)→(11:55)八合目避難小屋(12:10)→新道三合目(13:35)→馬返し駐車場登山口(14:45) 歩行時間(休憩時間含む) 8時間 25分

前日まで雨だったが、やっとの晴れ間に臨んだ。登山道は整備されていて、歩き易い山でした。八合目避難小屋の「御成清水」は美味で、又、薪一本のささやかな荷揚げ協力も、小屋番の方に感謝されました。頂上では、曇りのため、お鉢巡りの稜線が望めただけでした。八合目位まで、山麓の陸上自衛隊演習場の砲弾音には閉口しました。打上げ花火のような音ですが、距離が結構近いので、嫌な響き音に辟易しました。

アフターは車で1時間弱の八幡平近くの藤七温泉(600円)が、お勧めです。男女別内湯から露天風呂に出てゆく形で、ゆったりした6つの湯船があります。湯床から湯がぶくぶくと出てきます。順番に湯船を回っているうちに体の芯まで温まりました。混浴ですが、女性用の囲いの有る露天湯船が1つ有り、又、大き目の女性向入浴用バスタオル(1,000円)も販売されていました。

[高山で見た鳥]

頂上近くのお鉢上で、ツバメより一回り大きいカラス大のワシタカ類の野鳥 1 を見ました。最初遠くからは、その飛翔の仕方からアマツバメかなと思いましたが、サイズが大きく、かなり近くまで来てくれたとき、茶系の頭頸部が見えました。ハヤブサ類 SP(肉眼での観察)。 (井 記)

サロン ソーメンをススリながらの納涼会 9月5日 L 宇野 参加 11 名
幸いに良いお天気、5名はバス、6名はハイキングコースを歩く、生駒山系の奈良側は特に、ドングリの樹類が沢山枯れて来ている、虫の被害だそう。テーブルの有る木陰でささやかなダベリング会をしました。きたろうの仲間になり 30 年近く、今も元気で有ることに、感謝するとともに、この先の有り方に話が弾みました。

(宇野 記)

新人歓迎会 くろんど園地 9月6日 L 入山 参加 40 名(うち新人 5 名)
京橋 9 : 17 分発 ~ 私市 9 : 49 着 私市 10 : 00 発 → くろんど園地 11 : 15 着 (歓迎会準備) 歓迎会開始 12 : 15 ~ 終了 14 : 40 くろんど園地出発 14 : 50 → 河内森着 16 : 00

生憎の雨模様となりましたが、くろんど園地で新人歓迎会を行いました。雨の為か、なかなか火がおこせなくご苦労お掛けしました。かまどの番をしていただき有難うございました。お陰さまで皆様にお腹いっぱい食べて頂くことが出来ました。ビンゴゲームでは童心に帰り盛り上がりました?ただ新人参加者が 5 名だったのは寂しかったですが。当初予定より参加者が少なく成った為材料が少し多かったようでした。皆様のご協力が無事終わる事が出来ました有難うございました。引続き、きたろう祭は山ではなく街中となったが 22 名の参加者で開催されました。

(入山 記)

土曜山行 高島トレイル(三重岳⇒武奈ヶ嶽縦走) 9月12日

L 安田 参加 24 名

森ノ宮駐輪場 (7:00) ⇒ 三重岳落合登山口 (9:50) → 平坦地 → 三重岳 (12:20)
食事 (12:40 出) → 池 → 水谷分岐 → わさ谷分岐 → (15:00) 武奈ヶ嶽 (15:10 発)
→ 角川分岐 → 水坂峠登山口 (17:20)

森ノ宮駐輪場を (7:00) 出発し三重岳落合登山口到着 簡単な準備体操を済ませ、そうそうに登山開始、すぐに急登 風もなく、蒸し暑さのため、熱中症予防のため何度か水分補給をしながら、三重岳に到着 食事時間も 20 分ほどで武奈ヶ嶽

目指して歩きはじめ、途中 右に若狭湾 左に琵琶湖を眺めながら進むことができました。景色がよく少し癒されました。武奈ヶ嶽からの下山は、悪路藪漕ぎ、何度かは尻餅をつきなら下山しましたが、無事下山することができました。30分遅れましたが、運転手のタマちゃんのはからいで 延長料金なし。

今回初めての、リーダーを指名されましたが、リーダーの役目が果たせたのかと心残りがあります。それはワンポイントレッスンで教わったことが、出来なかったこと…行ってはいけない目印倒木で道を塞いでいるところを、通り過ぎたところ、後方の方が気付いてくれたこと、少しの不注意が事故になったり 迷うことになることを実感。こんな頼りないリーダーでしたが、皆さんの暖かい思いやり 協力があって事故もなく、下山できたこと、参加された皆さん本当に有り難うございました。

(安田 記)